

**授業概要**

本授業では、「児童及び青年の心身の発達及び学習の過程」について学びます。に関する発達や学習をテーマにします。これに加えて、社会の多様化に即し、「特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解」と「支援方法」についても基礎的な部分についても扱います。児童・青年期における発達とその課題について理解し、それに関連する社会問題とその背景についても理解を深めることを目的とした講義を行います。

**授業計画**

第 1 回	オリエンテーション：授業内容及び目的の概要
第 2 回	発達(1)ピアジェの認知発達理論
第 3 回	発達(2)エリクソンの心理社会的発達理論
第 4 回	胎児・乳児期の発達
第 5 回	幼児期の発達
第 6 回	児童期の発達
第 7 回	青年期前期の発達
第 8 回	青年期後期の発達
第 9 回	学習と教育評価学習の理論・形態とその過程
第 10 回	児童青年期における問題：児童虐待の理解と支援
第 11 回	児童青年期に見られやすい問題：不登校の理解と支援
第 12 回	児童青年期に見られやすい問題：いじめの理解と支援
第 13 回	発達障害(1):ADHD、限局性学習症、自閉スペクトラム症について
第 14 回	発達障害(2):発達障害支援について
第 15 回	まとめ
第 16 回	定期試験（筆記試験）

**到達目標**

- (1) 児童・青年期の発達について理解し、説明できる。
- (2) 児童・青年期における諸問題について理解し、説明できる。
- (3) 発達障害の症状や支援方法について、説明できる。

**履修上の注意**

- ・毎授業、コメントペーパーで感想や質問の提出をしていただきます。
- ・出席状況の基準を満たさない場合は定期試験の受験資格を失います。
- ・遅刻厳禁。講義開始から 30 分を超える遅刻は、欠席扱いとみなします。
- ・不要な私語の禁止。受講態度の悪い学生には、退出を求めます。
- ・授業の都合上、後半の内容が翌週に回ることがあります。

**予習・復習**

予習：「授業計画」に記載してある各回の授業テーマやキーワードについて調べ、まとめておくこと。  
 事後学習：授業内容について振り返りを行い、配布資料を復習すること。理解できなかった点、わからなかった点は調べておくこと。

**評価方法**

- (1) 授業態度及び参加状況(ワーク、コメント、ロールプレイなど)10%
- (2) 小テスト 3 回(10%×3=30%)
- (3) 定期試験 60%

**テキスト**

教科書は使用せず、資料を配布します。参考資料は必要に応じて講義内で紹介します。